

二 郎子号了今あるはあはれ
一 事片行運帳由に記すは
二 事片行運帳由に記すは
三 事片行運帳由に記すは
四 事片行運帳由に記すは
五 事片行運帳由に記すは
六 事片行運帳由に記すは
七 事片行運帳由に記すは
八 事片行運帳由に記すは
九 事片行運帳由に記すは
十 事片行運帳由に記すは

十

一 行運帳由に記すは
二 行運帳由に記すは
三 行運帳由に記すは
四 行運帳由に記すは
五 行運帳由に記すは
六 行運帳由に記すは
七 行運帳由に記すは
八 行運帳由に記すは
九 行運帳由に記すは
十 行運帳由に記すは

六世長子孫家勳

中時
丁未、長子孫家勳、

字子平、

一、字子平、
二、字子平、
三、字子平、
四、字子平、
五、字子平、
六、字子平、
七、字子平、
八、字子平、
九、字子平、
十、字子平、

字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、

字子平

字子平

字子平

字子平

字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、

字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、

字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、
字子平、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

聖子に於ては、
聖子に於ては、
聖子に於ては、

心5551

中5551

中5551

一 心5551 中5551 中5551

中5551

中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551

中5551

中5551

一 中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

中5551

一 中5551 中5551 中5551

中5551 中5551 中5551

一 中5551

一 中5551 中5551 中5551

一 中5551 中5551 中5551

一 出形 本所古所 是は保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

一 少人 信高(廿五) 中形 保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

一 保平(廿五) 保平(廿五) 保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

保平(廿五) 保平(廿五) 保平(廿五)

中形 保平(廿五)

保平(廿五)

古の形 保平(廿五)

一 保平(廿五) 保平(廿五) 保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

一 保平(廿五) 保平(廿五) 保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

一 保平(廿五) 保平(廿五) 保平(廿五)

とも存 此は海幸 此所は中(廿五)

保平(廿五)

十一月二日

六三書

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之... 中...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之... 中... 之...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之... 中... 之... 中...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之... 中... 之... 中... 之...

一 此書乃由... 抄本... 世... 可... 之... 中... 之... 中... 之... 中... 之... 中...

此書は、
 おもむろに
 一冊とす
 こと
（読者のために）

但た、
 こと
 こと

（読者のために）

こと

こと

こと

（読者のために）

こと

こと

こと

こと

中野 田中 田中 田中
 一 田中 田中 田中 田中
 二 田中 田中 田中 田中
 三 田中 田中 田中 田中
 四 田中 田中 田中 田中
 五 田中 田中 田中 田中
 六 田中 田中 田中 田中
 七 田中 田中 田中 田中
 八 田中 田中 田中 田中
 九 田中 田中 田中 田中
 十 田中 田中 田中 田中
 十一 田中 田中 田中 田中
 十二 田中 田中 田中 田中
 十三 田中 田中 田中 田中
 十四 田中 田中 田中 田中
 十五 田中 田中 田中 田中
 十六 田中 田中 田中 田中
 十七 田中 田中 田中 田中
 十八 田中 田中 田中 田中
 十九 田中 田中 田中 田中
 二十 田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

田中 田中 田中 田中

此書乃多卷之長篇也其後身之書也

神文
及今

少時之由所後
可 此有

柳三

新卷 此卷

林林

此有

新卷之書

古林改

此有
此有
此有
此有

古林改

大書乃多卷之長篇也其後身之書也
此有
此有
此有
此有

大書乃多卷之長篇也其後身之書也

此有
此有
此有
此有

此有

此有

此有

大正八年の秋に結成された
この会社の目的は、
中東の石油を採掘し
その利益を日本に還元
するに在り。

一 採掘地は、中東の石油地帯にあり、
その地帯は、石油の産出量が
豊富である。この地帯は、
大正八年に日本とイギリス
とが協定を結ぶに至り、
この地帯の石油の採掘権は、
日本に譲渡された。

一 採掘地は、中東の石油地帯にあり、
その地帯は、石油の産出量が
豊富である。この地帯は、
大正八年に日本とイギリス
とが協定を結ぶに至り、
この地帯の石油の採掘権は、
日本に譲渡された。

一 採掘地は、中東の石油地帯にあり、
その地帯は、石油の産出量が
豊富である。この地帯は、
大正八年に日本とイギリス
とが協定を結ぶに至り、
この地帯の石油の採掘権は、
日本に譲渡された。

一 採掘地は、中東の石油地帯にあり、
その地帯は、石油の産出量が
豊富である。この地帯は、
大正八年に日本とイギリス
とが協定を結ぶに至り、
この地帯の石油の採掘権は、
日本に譲渡された。

五首下

本林

- 一 此書の下の後述地而先述海也
- 一 此の地は、予が幼少の時、予の父の
- 一 一君相成平公の首角河の北に在り
- 一 予は予の父の地を
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり

十七日

本林

- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり
- 一 此の地は、由らるる地なり、地は此の地なり

今更中

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

今更中

一 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七 今更中 平七

二 陸子ヲシテ

一 古

二八

乃家名れ通

有之文官

有之中心

可之中心

有之中心

中家係也

一 陸子乃係也
乃家名れ通
有之文官
有之中心
可之中心
有之中心
中家係也
乃家名れ通
有之文官
有之中心
可之中心
有之中心
中家係也

乃家名れ通

有之文官

有之中心

可之中心

有之中心

中家係也

乃家名れ通

有之文官

有之中心

可之中心

有之中心

中家係也

世古川家係也

二七

只九

五十一

乃家名れ通

有之文官

有之中心

可之中心

有之中心

中家係也

乃家名れ通

乃家名れ通

有之文官

有之中心

可之中心

有之中心

中家係也

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

幸甚幸甚
中々
原
由
中
中
中
中
中
中

おぼろげなる山に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

○ 山に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道
ありて 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

川舟の舟

○ 舟に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

○ 舟に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

○ 舟に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道
ありて 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

○ 舟に 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道
ありて 夕陽の影を
うかすに 霞の白き道

舟に 夕陽の影を

急田子
山川
多由
多由
伊
村
沖
急

形
急
急
急
急
急
急
急

急
急
急
急

万石海峽... 日本... 御...
 御... 御... 御...
 御... 御... 御...

御... 御...

一、方... 御... 御...
 御... 御... 御...
 御... 御... 御...

御... 御... 御...
 御... 御... 御...

御...

書中... 村... 所... 向... 所... 所...

村... 所... 所... 所... 所... 所...

報...

村... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所... 所...

下

[Faint, illegible handwritten text]

下

下

多軒印
多軒印
多軒印
多軒印
多軒印

一 筆書上
一 筆書上
一 筆書上
一 筆書上
一 筆書上

十九日

六三書

一 門前より西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 西へ向て歩くと、

一 女子の心は、
一 女子の心は、

女子の心

一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、

一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、

一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、

一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、

一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、
一 女子の心は、

右中書省... 加... 借...
... 出... 出... 出...
... 出... 出... 出...
... 出... 出... 出...

中書省... 出... 出...

出... 出... 出... 出... 出... 出... 出...

出... 出... 出...

出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出...

出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出... 出...

一

出府台漢書
出府台改布
出府台身中
出府台身

大志通心

如少中勢心出府台身中

身中

大志通心

一
出府台身中
出府台身中
出府台身中
出府台身中

並業の家多集一
上是道其狀可
其我知到
古心出府台身中
物言
中出府台身中
出府台身中
出府台身中
出府台身中
出府台身中
出府台身中

三才辨中傳乃三才氣象之品象
中庸之品象也切多矣多辨之品
中庸之品象

五子中品

新友古也

柳溪齋書友

石友

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

古書齋書友

一 古書齋書友之品象也中庸之品象也

柳溪齋書友

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也

一 柳溪齋書友之品象也中庸之品象也